

専門医用診療情報提供書の使い方

2021年9月

京都腎臓医学会では地域連携をよりスムーズに行うために、専門医先生用の情報提供書を用意しています。

CKD等で併診の報告書として、終診時の情報提供書としてご利用下さい。

ダウンロードの上是非ご活用ください。

適宜使いやすいうようにご変更頂いても差し支えありません。

以下の解説例もご参照下さい。

診療情報提供書							記載日 (西暦 2021 年 9 月 4 日)	
●●診療所		内科 ▲▲ ▲▲ 御侍史		医療機関名 ○○病院		医師名 ▲▲ ▲▲		
患者氏名	□□ □□	性別	男	生年月日 (西暦)	1965 年 1 月 1 日	56	歳	
コメント								
<p>いつもお世話になっております。 精査の結果、糖尿病性腎症と診断します。尿蛋白も2.0g/gcrとすでに多く、今後進行性に腎機能が低下する可能性が高いと考えます。 血圧管理、減塩を主とする食事療法等が重要です。 血圧管理130/80以下にコントロールし、RAS系阻害剤の追加をご検討ください。 今後当院でも栄養指導を繰り返しながら、減塩指導をしていきます。 次回以下の日に受診をお願いしていますが、それまでに以下の基準を満たせば早期にご紹介いただければ幸いです。 なお次回受診時にも採血尿検査を行います。</p>								
食事療法: カロリー 1800 kcal 塩分 6 g 蛋白質 50 g カリウム制限有 (無)								
次回再診日		2021年 11月 10日 または 下記の再紹介基準を満たす時						
基準は目安ですので先生方のご判断で結構です。 再紹介時には最近の検査データ(できるだけ時系列も)・処方内容の添付をお願いします。								
	チェック項目	再紹介の判断基準						
身体所見	血圧 (自由記載)	150以上	左記に当てはまる場合またはコントロール不能の高血圧					
	肺水腫 (自由記載)		呼吸困難・心不全症状					
	体重 (自由記載)	70	左記に当てはまる場合					
	浮腫 (自由記載)		左記に当てはまる場合または浮腫の急激な悪化					
検査所見	血清Cr値 (mg/dL)	1.5	左記の値より高くなった場合					
	eGFR (mL/min/1.73 m ²)	30.0	左記の値より低くなった場合					
	血清K (mEq/L)	5.0	左記の値より高くなった場合					
	血清Alb (g/dL)		左記の値より低くなった場合					
	Hb (g/dL)	11.0	左記の値より低くなった場合					
	尿蛋白/尿Cr (部分尿) (g/gCr)	3.0	左記の値より高くなった場合					
	尿潜血 (自由記載)	2+	左記に当てはまる場合					

尿蛋白/尿Crは1回尿で尿蛋白定量と尿Cr定量を測定し割り算して下さい。尿蛋白定量のみでは正確な判断が困難です。

検査結果や治療方針等をご記載下さい。
Excelの場合
改行は“Alt”+”Enter“で可能です。

必要に応じて
食事療法をご記入下さい。

必要に応じて
患者ごとの再紹介基準内容をご記入下さい。

不明な点、ご意見がございましたら以下までご連絡をお願いします。

京都腎臓医学会事務局 TEL: 075-701-4805 FAX: 075-721-0941 mail: tsuguhatta@hotmail.com (八田 告)